

水難事故 繰り返さないで 西条 遺族が市に救命胴衣寄贈



西条市に子ども用のライフジャケットを
寄贈した吉川優子さん(左)

2012年に西条市で幼稚園のお泊まり保育中に川で流され亡くなった吉川慎之介ちゃん(当時5)の両親らが設立した「吉川慎之介記念基金」は10日、西条市に子ども用ライフジャケット100着を寄贈した。市は、来夏に西条東、西条西の両消防署で始める市民へのライフジャケット無料貸し出し事業などで活用する。

両親らは、悲劇が繰り返されないことを願いライフジャケットの着用を呼び掛

ける活動に取り組んでおり、市が進める子どももの安全対策事業に生かしてほしいと寄贈を決めた。

小学校低学年用のSサイズ65着と高学年、中高生用のLサイズ35着で、両親らの活動を知った釣り具メーカーのダイワが同基金に提供した。市は80着を両消防署で貸し出し、20着は野外活動施設「石鎚ふれあいの里」(同市中奥)で使用する。

市役所で玉井敏久市長に目録を手渡した母親の優子さん(46)は「残念ながら毎

年水難事故が起きているが、対策を取ることができないはず。ライフジャケットの無料貸し出しは画期的な取り組みなので、全国に発信してほしい」と話した。

(中井美歩)

救命胴衣100着 西条市に寄贈

慎之介ちゃん遺族

西条市の加茂川で2012年7月、幼稚園の行事中

ライフジャケットを寄贈する吉川優子さん(左)と玉井敏久市長(西条市)



に流されて亡くなった吉川慎之介ちゃん(当時5)の母・優子さん(46)と父・豊さん(47)らが10日、西条市役所を訪れ、ライフジャケット100着を寄贈した。夫妻は玉井敏久市長から感謝状を贈られた。

吉川さん夫妻は事故後の14年に「吉川慎之介記念基金」を設立。講演などで教育現場での事故予防を訴えている。今回寄贈されたライフジャケットは、釣り具製造販売の「グローブライド」から基金に寄付された

ものを、基金から西条市に寄贈したという。

ライフジャケットは市内の消防署などで管理し、無料で貸し出す予定という。優子さんは「安全に楽しく水辺で活動するためにも、積極的に活用して欲しい」と期待を寄せていた。

2017年11月11日 朝日新聞でデジタル版

愛媛) 西条市にライフジャケットを寄贈 吉川さん夫妻

2017年11月11日03時00分

シェア
9

ツイート
list

ブックマ
0

スクラッ
ブ

メール

印刷

続きから読む



ライフジャケットを寄贈する吉川優子さん（左）と玉井敏久市長＝西条市

西条市の加茂川で2012年7月、幼稚園の行事中に流されて亡くなった吉川慎之介ちゃん（当時5）の母・優子さん（46）と父・豊さん（47）らが10日、西条市役所を訪れ、ライフジャケット100着を寄贈した。夫妻は玉井敏久市長から感謝状を贈られた。

吉川さん夫妻は事故後の14年に「吉川慎之介記念基金」を設立。講演などで教育現場での事故予防を訴えている。今回寄贈されたライフジャケットは、釣り具製造販売の「グローブライド」から基金に寄付

されたものを、基金から西条市に寄贈したという。

ライフジャケットは市内の消防署などで管理し、無料で貸し出す予定という。優子さんは「安全に楽しく水辺で活動するためにも、積極的に活用して欲しい」と期待を寄せていた。

事故を巡っては松山地裁が昨年5月、業務上過失致死傷罪に問われた元園長に罰金刑を言い渡している。

川遊び園児死亡事故
基金が救命胴衣寄贈

西条市に

西条市の加茂川で5年前、幼稚園のお泊まり保育の川遊び中に園児3人が流されて死傷した事故を教訓にしようと設立された「吉川慎之介記念基金」は10日、子ども用ライフジャケット100着を同市に寄贈した。市は、野外活動に参加する子どもらに貸し出すことにしている。

事故は2012年7月、園児3人が流され、吉川慎之介ちゃん(当時5歳)が死亡。慎之介ちゃんの父・豊さん(47)と母・優子さん(46)は2014年7月、同

基金を設立し、講演会でライフジャケット着用の必要性を訴えるなど、子どもの教育現場での安全啓発を行っている。

この日、市役所で行われた贈呈式で、同基金代表理事の優子さんが玉井敏久市長に目録を手渡し、「繰り返し返される水の事故を防ぐために活用を」と要望。豊さんは「慎之介も喜んでいと思う。市は前向きに取り組んでほしい」と話した。

市は20着を市の自然体験型学習施設「石鎚ふれあいの里」、80着を消防署に分

西条市にライフジャケットを寄贈した吉川優子さん(左)と玉井市長(西条市役所で)



配、配備して野外活動をする子どもらに貸し出す。

西条市にライフジャケット寄贈

2017年11月10日(金) 19:18 愛媛朝日テレビ

西条市の加茂川で、幼稚園児が川に流され、死亡した事故から5年あまり経ちます。事故の再発防止を願い、亡くなった園児の両親が西条市にライフジャケットを寄贈しました。2012年7月、西条市にある幼稚園のお泊り保育中に、加茂川で水遊びをしていた吉川慎之介ちゃん当時5歳が、増水した川に流され死亡したほか、別の2人の園児がけがをしました。10日は、慎之介ちゃんの両親で母親の優子さんと父親の豊さんら6人が、西条市役所を訪れ、水の事故が二度と起こらないようにと小学生の低学年と高学年用の2種類、あわせて100着分のライフジャケットの目録を玉井市長に手渡しました。吉川さん夫妻は、事故で慎之介ちゃんを亡くしてから、全国各地で講演を行い、水の事故防止と予防を訴えてきました。この2人の活動に共感した釣り具メーカーがライフジャケットを提供し、今回、西条市に贈られました。ライフジャケットは、市内の消防署や野外活動施設に、無料で貸し出されるということです。子供の水の事故防止へライフジャケット寄贈

2017/11/10 19:25:00 テレビ愛媛

西条市の加茂川で園児が死亡した事故を受け、遺族らが子ども用のライフジャケットを西条市に寄贈しました。寄贈されたのは小学生用のライフジャケット100着です。寄贈式には5年前、加茂川で幼稚園の川遊び中に溺れて亡くなった吉川慎之介ちゃんの母・優子さんと父・豊さんらが出席しました。そして玉井市長にライフジャケットの目録を手渡し「子どもの水の事故が無くなるよう使ってほしい」と思いを伝えました。贈られたライフジャケットは石鎚ふれあいの里に20着、残りの80着は西条市内の消防署に置かれ、市民などに無料で貸し出しするという事です。